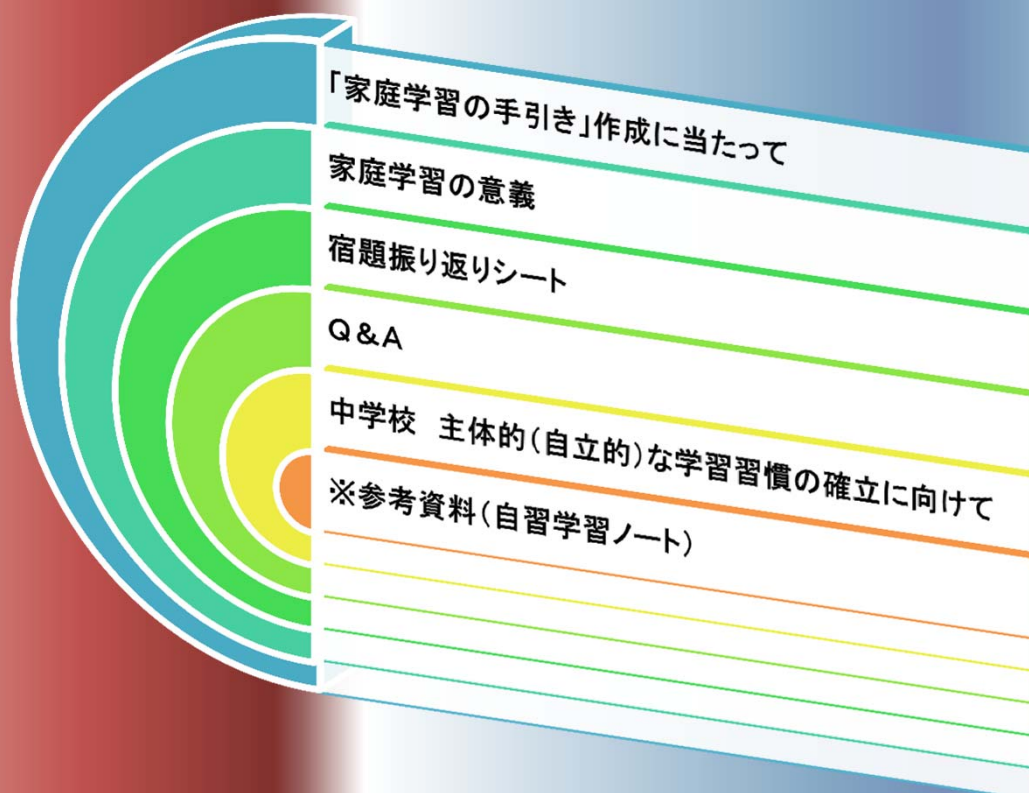


平成26年1月発行

教員用

家庭学習の手引き



23年度に作成した「魚津っ子 家庭学習のすすめ」を、より具体的に示し、実際のノート等の具体例も掲載しました。

家庭学習の取組方について、市内の先生方の実践から編集したものです。お役立てください。

魚津市教育委員会
魚津っ子の学び向上委員会
魚津市小中教務主任会

目 次

1	「家庭学習の手引き」作成に当たって	・・・	P 1
2	家庭学習の意義	・・・	P 2
3	宿題振り返りシート	・・・	P 4
4	家庭学習 Q & A		
Q 1	学年や個に応じた家庭学習は、どれくらいの 時間や量が適当なのですか？	・・・	P 5
Q 2	自習学習には、どのような内容のものがある のでしょうか？	・・・	P 6
Q 3	児童が楽しく取り組んだり、家族と対話しながら 取り組んだりできる宿題には、どのようなものが あるのでしょうか？	・・・	P 7
Q 4	効率的に点検するには、どのような工夫を すればよいのでしょうか？	・・・	P 9
Q 5	一人一人の成長や努力を認める評価は、どの ように行えばよいのでしょうか？	・・・	P 10
Q 6	保護者の協力を得るために、家庭にはどの ような働きかけをしたらよいのでしょうか？	・・・	P 12
5	中学校 主体的（自立的）な学習習慣の確立に向けて	・・・	P 14
6	参考資料 自習学習ノート例	・・・	P 16



「家庭学習の手引き」作成に当たって

魚津市の小中学校では、県が策定している「とやま型学力向上プログラム」を踏まえ「児童一人一人の学びを向上させ、確かな学力の定着を目指す」ことを目標として、教育委員会や拠点校を中心に授業公開、研修会における交流・教員の相互派遣等の取組を行い、授業力向上へ向けた取組の普及を図ってきました。



一方、全国学力・学習状況調査の結果において、魚津市は「家庭学習の時間が少ない」ことが一つの課題であり、家庭学習をより充実させることも学力向上に不可欠と捉えました。

そこで、「魚津っ子の学び向上委員会」を組織し、23年度は「魚津っ子 家庭学習のすすめ」を作成し、全家庭に配布して家庭における学習習慣の確立に努めました。先生方も内容等を参考にされながら、家庭への声かけを行い学校と家庭での学習の両輪で、学力の定着を図っておられることと思います。

さて25年度は、「魚津っ子 家庭学習のすすめ」の一層の活用を願い、実際に日々の授業に携わる教員向けとして、指導の拠り所となる日常の指導に生きる教師用実践事例集「家庭学習の手引き」を作成しました。

作成指針は以下の3点です。

作成方針

- 1 宿題や家庭学習の具体例を示す。
 - ・宿題を出す際の配慮すべき点の明示
 - ・「基礎・基本」の定着、「発展的」な学習、「授業に生かす」宿題例の明示
 - ・自主学習のノート例と指導する際のポイントの明示
- 2 教員の悩みに対して解決策を示す。
 - ・Q & A形式で具体的方策の明示
- 3 小中学校の連携した学びを示す。
 - ・小中9年間が連続した学びになるために、小中学校で身に付けさせたい学習習慣や家庭への働きかけの具体例の明示

以上の指針に基づき、作成委員が市内小学校の実践を集め、実践経験に裏付けられた確かな知恵と工夫を出し合って作成しました。

そこには、魚津市の教員に少しでも参考にさせていただくとともに、取組を通してさらに進化したアイデアを生み出し、児童がますます意欲的に宿題や家庭学習に取り組み、学力向上に寄与する願いが含まれています。

ぜひとも、熟読の上、さらには日頃の実践と重ね合わせながらご活用いただきたいと思います。

家庭学習の意義

なぜ、家庭学習が必要なのでしょう。それは、家庭学習には次のようないくつかの教育的効果があるからです。特に、1「授業の復習」と2「家庭学習の習慣付け」の項目を意識することが大切です。以下の効果を児童生徒にも伝え、家庭学習を充実させて確かな学力の定着を目指しましょう。

- 1 授業の復習・・・ 学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算等は、毎日繰り返し練習することで定着していきます。学校で「分かった」ことが、反復練習によって「できる」という自信に変わります。



- 2 家庭学習の・・・ 毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身に付きます。毎日続けることで、やがて、当たり前の習慣になります。少しずつでも継続することが大きな力につながります。低学年のうちから毎日欠かさず家庭学習をすることが大切です。



- 3 脳の活性化・・・ 読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に働くようになります。鍛えれば鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことに対応できるようになります。



- 4 がまん強さ・・・ 家庭学習の最大の敵はテレビやゲーム等の誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。テレビやゲームの時間を決めて、学習や読書等の時間をしっかりと確保したいものです。そのためには、テレビを消す、みんなで読書をするといった家族全員の協力が必要なのは言うまでもありません。



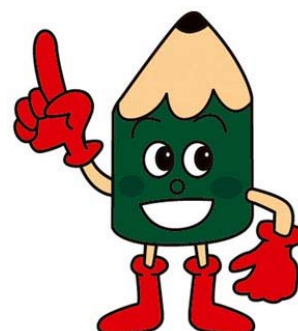
- 5 家族との触れ合い・・・「本を読んでいるとき、横で聞いてもらう」、「勉強が分からない時、教えたり調べたりしてもらう」等、家庭学習をしているとき、家族の方と関わるによりコミュニケーションを図ることができます。家族との触れ合いの機会が増えることは、精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。



授業と家庭学習のサイクル化

家庭学習が次の授業にどのようにつながるのかを、子ども自身が理解しておくことは大切です。そのことにより家庭学習をする必然性が生まれ、子どもの家庭での学びが主体的になり、質・量ともに高まっていきます。


そこで、次のように発達の段階に応じた家庭学習の目当て、内容、授業との関連を意識して課題を出すことが必要となります。










発達の段階	目当て	家庭学習の内容例	授 業 例
低学年	習慣化する。	<u>与えられた課題中心</u> 読み・書き・計算の基本的な学習を行う。 (音読・漢字・ドリル・日記・視写・読書 等)	・練習してきたことをテストする。
中学年	自分の学び方を身に付ける。	<u>自主学習の導入</u> 与えられた課題に加え、簡単な予習や復習を行う。 (意味調べ・ローマ字練習・問題づくり 等)	・調べてきたことを発表させる。 ・作った問題をみんなで解く。
高学年 ～ 中学生	計画的・主体的に学ぶ。	<u>自主学習の主体的な取組</u> 自主学習（復習・予習）を増やす。 (今日の授業のまとめ・次時の学習内容・テスト勉強・発展的な学習 等)	・自主学習を基に自分の考えをまとめたり、振り返ったりする場を設ける。

宿題振り返りシート

「家庭学習の習慣化」は、学力の定着だけでなく、「頑張って宿題に取り組んでいる」という「自尊感情」(※)の高まりにもつながるということを、本人だけでなく保護者にも理解してもらうことが大切です。また、「なぜ宿題をしなければならないのか」を知らせるとともに「児童生徒が興味をもって取り組める内容や出し方」を工夫する必要があります。日頃の宿題についてチェックし、改善をしましょう。

( は、市内教員アンケートで、あまり実践されていない項目)

観 点	項 目
出 し 方	<input type="checkbox"/> 宿題の意義を児童生徒に伝えて出していますか。  P 2 <input type="checkbox"/> 保護者の意見にも耳を傾け、宿題の出し方を改善していますか。 <input type="checkbox"/> 宿題のやり方を十分に説明して、宿題を出していますか。 ・何を、どこまで、どの程度まで <input type="checkbox"/> 学年に応じた宿題（課題＋自主学习）の量を考えて、  P 5 課題  P 6 自学 出していますか。 <input type="checkbox"/> 児童生徒が授業内容を理解しているかを確認して、宿題を出していますか。 <input type="checkbox"/> 学年間、教科担任との連携はとれていますか。 <input type="checkbox"/> 時には、特定の学習内容定着のために、期間を設けて集中的に宿題を出していますか。（かけ算九九、漢字練習等）
内容の工夫	<input type="checkbox"/> 児童生徒が自分でできるものですか。 <input type="checkbox"/> 時には、個に応じた宿題を出していますか。 <input type="checkbox"/> 時には、児童生徒が楽しく取り組めるような宿題を出していますか。  P 7 <input type="checkbox"/> 時には家族で対話できるような、宿題を出していますか。
評価・点検のポイント	<input type="checkbox"/> 点検を確実に行之、やってこなかった場合は、その日のうちに提出させていますか。  P 9 <input type="checkbox"/> 一人一人の成長や、努力を認める評価をしていますか。  P 10 <input type="checkbox"/> 宿題の内容に応じて評価し、児童生徒に伝える工夫をしていますか。 <input type="checkbox"/> 保護者に、児童生徒の成長や努力が伝わるような、工夫をしていますか。 <input type="checkbox"/> 評価・点検の仕方を教師間で、情報交換していますか。
家庭との連携	<input type="checkbox"/> 宿題の意図について、学年だよりや学年・学級懇談会、家庭訪問等で保護者に説明していますか。  P 12

※自尊感情・・・自分には価値があり尊敬されるべき人間であると思える感情のこと。これが高い人は、困難に出会っても粘り強く努力したり、意欲をもって新しいことに挑戦したりすることができる。

家庭学習 Q & A

Q 1. 学年や個に応じた家庭学習は、どれくらいの時間や量が適当なのでしょう？

A. 魚津市では、「魚津っ子 家庭学習のすすめ」（小学校）で、学習時間の目安を次のように示しています。

1・2年生・・・20分 3・4年生・・・40分 5・6年生・・・60分

平成22年度に行われた魚津市の家庭学習についての調査（6年生）において以下の結果が出ています。

- ・魚津市の児童の平日の家庭学習の時間は、「全くしない」や「1時間未満」の割合が全国や富山県に比べてやや多い。
- ・家庭学習の時間の平均は、平日・土・日曜日ともに一人当たり52分で、魚津市が目安としている「高学年60分」に満たない児童が、平日は64%、土・日曜日が58%となっている。

以上のことから、次の2点を意識しながら、家庭学習の習慣化を図る必要があります。

- ① 「全くしない」「1時間未満」の児童生徒を少なくする。
- ② 日曜日の家庭学習の時間を確保する。

【家庭学習の内容】

その日の学習の定着（基礎・基本）とドリルによるスキルアップを中心とする課題、苦手な学習内容の理解を進めるための課題、学習したことをさらに深く追究する課題等があります。また、児童生徒が自分の興味があるものを追究していく自主学習もあります。

以下の3つにまとめられます。

- ・既習事項の定着を図る家庭学習
- ・興味・関心を高める家庭学習
- ・個の伸長を図る家庭学習

「児童生徒にどのような力を付けたいのか」という家庭学習や課題の目的を教師自身が明確にもつことが大切です。



【家庭学習の量】

共通の課題に加えて、自主学習（P 6）を奨励し、個人差への対応を工夫して、目安の学習時間を達成できるようにしている教員もいます。

【留意事項】

- ・年度当初、家庭学習の習慣化を図るために学習の進め方を説明し、パターン化して児童生徒が取り組みやすいように心掛ける。例えば漢字学習や計算の練習の仕方、ノートの書き方等を説明し、自分で学習を進められるようにする。
- ・複数学級のある学年では、担任間で家庭学習の内容や量の情報交換を行い、学級間での差が生まれないようにする。
- ・進級時、前学年での家庭学習のやり方と大きく内容・量が変わると児童生徒に戸惑いが生じるので、学校としての家庭学習の出し方について、ある程度の共通理解をしておく。

Q 2. 自主学習には、どのような内容のものがあるのでしょうか？

- A. 「自主学習」は、児童生徒が興味・関心のあることを調べる、読む、まとめる、自分の苦手な学習を繰り返し練習する、授業で学習した内容をさらに深く追究する等、自主的に学習を進める、家庭での学習習慣を身に付けさせることがねらいです。

しかし、児童生徒の自主性に任せているだけでは何を学習したらよいのか、どのように学習したらよいのか迷うことも多いと思います。

そこで、各学年または一人一人に、ある程度自主学習の方法や内容を教師から提示する働きかけも必要になってきます。



【まずはじめに】

- ① 専用ノートを準備する。(初めは担任が一括購入するとよい)
ノートに名前やページを書いて、取り組んだ量が可視化できるようにしましょう。
- ② 取り組む内容を明確にする。
内容を一覧表にするなど一目で分かるようにしましょう。
- ③ 1回に取り組む量(ページ数)を決めておく。
基本は、見開き2ページです。(徐々にできるように励ましていきましょう。)
- ④ 最後に必ず感想を書かせる。
「振り返り」を書くことで、自己教育力を育んでいきます。短くても構いません。
- ⑤ 必ずノートチェックで評価を行う。
一言「〇〇なところがいい」などと赤ペンを入れるとやる気につながります。

【自主学習の内容例】

漢字ドリルや計算ドリルを使って繰り返し練習をしたり、学校で学習した問題をノートに写して再度自主学習として行ったりするなど、基礎的・基本的な力を身に付ける「バッチリメニュー」と自分の興味・関心に基づいた「ワクワクメニュー」を紹介します。

バッチリメニュー

- ・ ひらがな練習 ・ 漢字練習 ・ 計算練習 ・ ローマ字練習 ・ 音読 ・ 視写
- ・ 読書 ・ 都道府県名や世界の国名 ・ 笛や鍵盤ハーモニカの練習等



ワクワクメニュー

- (低学年) ・ 絵であらわす九九 ・ あったらしいなこんなもの ・ 言葉集め ・ 交通標識
- ・ はり絵 ・ お手伝い日記 ・ 音楽の記号や言葉 ・ キャラクターづくり
- ・ 色の不思議 ・ たし算やひき算、かけ算のお話づくり ・ 花や野菜、虫や生き物の観察日記等
- (中学年) ・ 都道府県庁所在地調べ ・ 三角定規やコンパス、分度器を使つての絵 ・ 地図記号
- ・ 体のつくり調べ ・ 磁石にくっつく物調べ ・ 家のごみの量や種類調べ
- ・ 星座の動きの観察 ・ 月や太陽 ・ ことわざの意味調べ ・ 昔の暮らし
- ・ 世界の国ランキング ・ 点字探し等
- (高学年) ・ 新聞スクラップ ・ 各県の特産物調べ ・ 川や海等で拾ってきた石の大きさや形調べ
- ・ 天気予報の雲画像や雨情報、台風の動き調べ ・ 歴史上の人物調べ ・ 食物連鎖って？
- ・ 身近にあるてこの原理 ・ 星座や月の満ち欠け観察 ・ 〇〇〇用語
- ・ ものの始まり辞典 ・ おすすめ食事メニュー ・ 職業調べ ・ 音符調べ等

Q 3. 児童が楽しく取り組んだり、家族と対話しながら取り組んだりできる宿題には、どのようなものがあるでしょうか？

A. 毎日の宿題には、スキルのなもの、繰り返し練習するもの等、基礎・基本を身に付けることを中心にしたものが多くなります。しかし、ときには、児童が楽しめるようなクイズやゲーム的なもの、家族と対話しながらできるものを取り入れると意欲的に宿題に取り組めます。

1 楽しみながら取り組むことができる宿題

低 学 年	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字練習 ・ ・ 自分の苦手な漢字ベスト 5 ・ ことば集め（野菜、動物、花等） ・ 楽しい詩や読み物の暗唱
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好きな単元の音読 ・ 図形づくり、図形を使ったパズル ・ ビンゴやしりとり等、クイズを取り入れたもの ・ 答えの場所の色ぬり
	生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャラクターやイラストの入ったもの
	音楽 特活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家の手伝い ・ 鍵盤ハーモニカの練習 ・ 劇のせりふや演技の練習
中 学 年	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ ローマ字でしりとり、なぞなぞ ・ 好きな〇〇ベスト 5 とその理由 ・ 四コマ漫画日記 ・ なりきり作文 ・ 家族の自慢作文 ・ 国語辞典を使って言葉調べ、漢字辞典を使って漢字調べ ・ 新聞を使って既習の漢字さがし
	社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家の周りの地図づくり
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ形を敷き詰めた模様づくり ・ コンパスや分度器を使って作図の練習
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家の中の磁石や電気を通すもの調べ
高 学 年	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 俳句づくり ・ 同じ部首の漢字集め、同じ画数の漢字集め ・ 反対言葉集め ・ 四字熟語、ことわざ調べ ・ 古典の暗唱（源氏物語、枕草子、百人一首、平家物語 等）
	社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞記事の紹介 ・ ちらしを使って食べ物の生産地調べ ・ 新聞を使って国名調べ ・ 歴史事象や歴史人物の新聞づくり



	算数	<ul style="list-style-type: none"> ・外国と日本の違い調べ ・身の回りの割合を表すもの集め ・コンパスや定規をつかって模様づくり
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ・答えが同じになる問題づくり ・ムラサキキャベツを指示薬にした身の回りの水溶液の性質調べ ・てこを使った道具さがし
	家庭科	<ul style="list-style-type: none"> ・天気の変化の観察
	特活	<ul style="list-style-type: none"> ・調理（おかずづくり） ・行事や校外学習のことを話題にした家族との会話



2 家族と対話しながら取り組める宿題

低 学 年	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での出来事（学習お知らせカード）についてのコメント ・親子読書（全学年）、日記の話題を相談 ・ことば集め、あいうえおの言葉を使った詩、家族をテーマに俳句づくり等 ・保護者による漢字プリントのチェックと確認 ・音読（家族のコメント欄）
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆対談 ・九九練習 ・家族と一緒に家の中のものの長さ調べ（cm、mm）、水のかさ調べ（dL、L）形調べ
	生活	<ul style="list-style-type: none"> ・計算カードの時間計測 ・生活科のお手伝いと、家の方からのメッセージカード ・学校で育てたい野菜決め、育て方のアドバイス ・家族の仕事調べ、小さいころの自分についてインタビュー ・一緒に楽しむ昔の遊び（紙鉄砲、あやとり等）
中 学 年	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・音読（家族のコメント欄）
	社会 理科 音楽 総合	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の生活インタビュー、地域探検、ごみ調べ、買い物調べ ・星座の観察 ・リコーダー練習（家族のコメント） ・環境（温暖化防止）の取組を相談、協力して実践、地域探検
高 学 年	国語 社会 理科	<ul style="list-style-type: none"> ・音読練習（古文） ・社会科の新聞づくりのためのインタビュー ・月の観察 ・天気に関する言い伝え調べ、家族へのインタビュー ・環境問題や新エネルギー開発、活用についてのニュース集め
	家庭科	<ul style="list-style-type: none"> ・朝ご飯メニューに挑戦、クリーン作戦（清掃）等の実践 ・献立の立て方、味噌汁の作り方、買い物等の工夫（インタビュー、一緒に実践）
	外国語 総合	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の外国語活動の会話 ・キャリア教育として仕事に対する思いをインタビュー



Q 4. 効率的に点検するには、どのような工夫をすればよいのでしょうか？

A. 点検について

何と言っても、その日の内、できれば朝、少なくとも午前中には、「家庭学習をやってきたか、やって来なかったか」を把握したいものです。

教師が自ら行ってもよいのですが、係の児童生徒の仕事として名列表にチェックさせてもよいでしょう。黒板等に確認票を張り出す方法もありますが、場合によっては、児童生徒の自尊心を傷つけ、逆効果になることもあるので注意しましょう。

頑張っ家庭で取り組んだ学習について、教師や友達からよい評価をもらうことは、次の意欲につながります。できるだけ早めに目を通し、他の児童生徒の参考になるものは紹介するのが望ましいでしょう。とは言っても、一日の仕事の中で家庭学習のチェックに充てられる時間は限られています。ですから、内容によって軽重をつけるのはやむを得ません。
(P10、11参照)



また、自主学習ノートについては、2冊持たせて1日にクラスの半数ずつのノートを点検する方法もあります。その他、宿題の内容について「確認テスト」をして評価する方法もあります。

A. 家庭学習の習慣が身に付いていない児童生徒について

そのような児童生徒がいたら、「やっても、やらなくても同じ」と思って欲しくないものです。期限を示して根気強く、必ずやらせたいものです。



- ・ その日の休み時間、大休憩、昼休み、放課後 等…または翌日まで等
- ・ 能力的に配慮が必要な児童生徒には、取り組む範囲や量（10分か20分程度でできるもの）を決め、できたときの達成感を味わわせることもよいでしょう。
- ・ 前もって学校でやり方を説明する。
- ・ 復習型の内容にする。

個人に対する指導だけでなく、教室全体で提出率等を上げる取組をし、みんなで達成感を味わうことができるような手立てをするのもよいと思われます。



Q 5. 一人一人の成長や努力を認める評価は、どのように行えばよいのでしょうか？

A. 評価には、次のようなねらいがあります。

- ア 児童生徒の学習への動機付けや方向付けを行う。
- イ 教師の自己反省とその後の指導方針の見直し、指導改善に生かす。
- ウ 児童生徒をほめる材料として、児童生徒の向上につなげる。
- エ 指導目標に基づいて多面的に行い、適切に活用する。



家庭学習の取組や内容を教師から認められることで、児童生徒は、励まされ、喜びを感じます。また、具体的なアドバイスをもらうことで、より効果的な学習の仕方を身に付けていくことができます。そして、そのことが、自主的に学習を進める意欲や力につながっていきます。

しかし、教師が家庭学習の評価に充てることのできる時間は、限られています。短い時間の中で、児童生徒の成長や努力を伝えるためには工夫が必要です。では、どのように評価をするとよいのでしょうか。

1 評価すること

① 課題への取組

学習内容の理解が不十分な児童生徒や家庭学習の習慣が身に付いていない児童生徒にとっては、家庭学習の課題を仕上げることは、とても高いハードルです。途中までであっても、内容が不十分であっても、まずは、「取り組もうとしたこと」や「取り組んだこと」を認めましょう。できなかった分をどうするのかについて、教師に教えてもらう、解答を見ながら取り組んでみる等、いくつか方法を提案し、児童生徒が自分で決めて取り組むようにするとよいです。解決への見通しをもつことができれば、児童生徒は自分で動き出します。



個に応じた課題の工夫や、普段から「できることを精一杯やればいいんだよ」というメッセージを伝えておくことも大切です。

- ・ 半分できたね
- ・ がんばったね
- ・ あと一息だね
- ・ 先生と一緒に仕上げようね



② 取組の内容

教師からの課題なのか自主学習なのか、また、課題の内容にもよりますが、一人一人の取組の内容を評価しましょう。例えば、算数の課題の場合、次のような評価の観点が考えられます。

- ・ 課題を仕上げてある
- ・ まる付けをしてある
- ・ 直しを丁寧にしてある
- ・ 類題に取り組んでいる



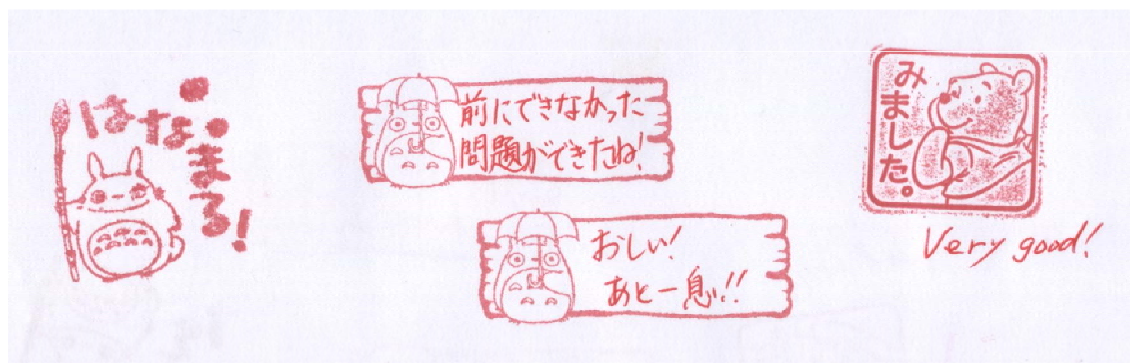
2 評価を伝える方法

児童生徒の意欲を呼び起こし、次の学習に生かすためには、その日のうちか遅くとも次の日には、評価して返したいものです。一人一人に丁寧にコメントを返すとよいのですが、限られた時間の中では難しいことです。スタンプやシール等も活用しながら、教師からの温かい励ましやアドバイスを伝える工夫をしていきましょう。



【例】

- | | |
|--------------|--|
| ① 記号によるメッセージ | … まる付け（花まる、三重まる、二重まる等）
シール、スタンプ、A、B等の記号 |
| ② 言葉によるメッセージ | … 朱書き、声かけ |
| ③ 記号＋言葉 | … スタンプやシールの横に「good!」「がんばったね」「～がいいね」等のコメント |
| ④ 周知 | … 展示、全体への紹介 |



3 評価の際の注意点

児童生徒の意欲につながる評価にするためには、いくつかの注意が必要です。

- ・「A（よくできた）、B（だいたいできた）、C（がんばろう）」等の記号の場合、なぜそのような評価なのか、観点が誰から見てもよく分かるようにしましょう。展示したり全体に紹介する際も、同様です。よさが伝わるようにコメントを付けましょう。
- ・「C」等の場合、返しっぱなしにしないで、個別に呼んで具体的なアドバイスを
して直しをさせ、その日のうちに「B」や「A」に書きかえて返しましょう。
- ・コメントは、「私メッセージ」で書きましょう。「こうあるべき」「ここがダメ」というメッセージは、意欲を減退させます。「～がいいね。～すると、もっとよくなると思うよ」などの私メッセージは、子どもの意欲を引き出します。
- ・「前に比べて、～がよかったよ」のような、個人内評価を心がけましょう。

Q 6. 保護者の協力を得るために、家庭にはどのような働きかけをしたらよいのでしょうか？

A. 学力向上を図るには「家庭学習の習慣化」や「基本的な生活習慣の確立」等家庭の過ごし方が大切になります。様々な機会を通して、学校の方針を伝え協力を依頼したり、児童生徒のがんばりを伝えたりすることで、保護者の家庭学習に対する意識が高まります。

保護者の学校に対する関心や意識を高め、信頼が得られるよう、連携の在り方を工夫しましょう。

- ①「保護者会」「年度当初の学年・学級だより」「学校だより」で指導方針や依頼事項を伝える。
- ②「連絡帳」「学年・学級だより」「学校だより」「ホームページ」で日頃の様子を伝える。
- ③学習参観に自主学習ノート等のノート展をする。等

あらゆる機会をとらえて、根気よく保護者に協力を求めていくことが大切です。子ども自身が保護者にがんばりを伝えることも効果的です。

【保護者会、学年だより等についての例】

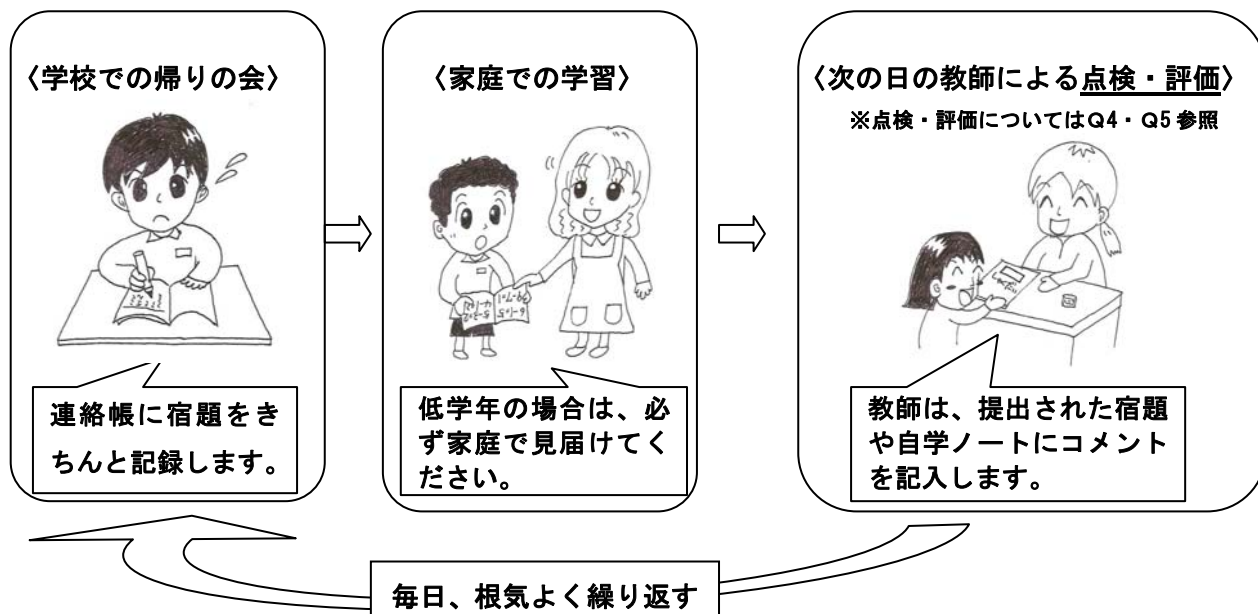
1 年度当初に、意義・目的（「家庭学習の意義や目的」P2参照）とともに、どのような家庭学習をどの程度行えばよいか伝える。

例えば、低学年においては、教師が家庭で行う学習の課題を与え、中学年、高学年と進むにしたがって、自己の能力や興味・関心に応じて自分で学習する課題を設定するようにする。時間は、最低限度の目安として、学校で共通している場合はそれを目安として示す。

※魚津市の家庭学習リーフレットを参考にするとよい。

学 年	音 読	宿 題	自学ノート	時 間
低学年	国語の教科書を中心に、5～10分程度、声に出して読む。	教師が出した宿題をする。	教師が出した問題をする。	20分程度
中学年			メニュー等を参考にする。	40分程度
高学年			自分で課題を設定してする。	60分程度

2 家庭学習を習慣化させるため、下記のような流れにしていることを伝える。



【学年だより、学校だより等に掲載するおたより例】

家庭学習について

1学期から、懇談会等いろいろな機会に宿題についてのご意見をいただいています。2年生よりも増えた宿題について「多いのではないか」というご意見や「これくらいは出してほしい」というご意見がありました。

そこでまず、なぜ宿題を出すのかということについてお話します。

宿題を出す意味は、第一に「望ましい学習習慣を身に付けてほしい」ということです。ですから、ただこなすだけでなく「遊びに行く前に」「学年×10分以上」「ていねいに」ということを繰り返しお伝えしているわけです。

第二に、学校で学習するだけでは身に付きにくい繰り返し学習（漢字・計算等）を行うことで「基礎的な学力を定着させてほしい」ということです。新しく習う漢字や計算をさっと身に付けてしまう子もいれば、時間をかけて身に付けていく子もいます。ただ、今はさっと身に付く子も、将来、時間をかけて取り組まなければならない不得手な課題に遭うこともあるでしょう。その時に根気よく取り組むことができる粘り強さ、集中力も「基礎的な学力」として捉えています。そのためにこれだけは繰り返ししてほしいという課題を出しています。

一方、子どもたちには家庭に帰ればそれぞれの「家庭での生活」（友達や家族との遊び、習い事、お手伝い、団欒の時間等）があると思います。その家庭での生活が極度に侵害されるような量の宿題は適切ではないと考えています。ですが、速い子は30分くらいで済ませてしまう宿題を2時間以上かけて行っている子がいるということも耳にします。学校でやればそこまでの差は出ませんから、おそらくいろいろな誘惑に負けない集中力の差が表れているのではないかと考えられますが、量の調整には苦慮しているところです。

そこで、このような個人差に配慮するという意味で「自主学習ノート」を宿題として出すことにしました。従来の宿題を少し少な目にして、その分を自主学習が埋める形にしたいと思っています。学校でも「6時間目まであるか」「次の日が休みか」などの実情に応じて宿題の量を調節したいと思いますが、ご家庭でも学校から出た宿題が少ないと思われる場合は、親子の約束で時間や内容を決めて自主学習を行っていただければと思います。

自主学習は、その子の学ぶ力を伸ばしたり苦手を克服したり得意を伸ばしたりするのに役立つと考えています。ご協力よろしくお願いします。
（小学校3年 10月号の学年だより）より

がんばっています！！自主学習

6月から計画を立てて自主学習に取り組んでいます。4月の学級懇談会で「宿題だけで40分かかるのでなかなか自主学習の時間がとれない」「じっくり考える時間がないのでいつも同じ内容になったり、簡単なことや好きなことだけをやったりしている」というご意見をいただきました。宿題で出すこともできますが、一人一人時間の余裕のある日はちがいます。そこで、自主学習に取り組む日を選ぶことにしました。また、内容については「パッチリメニュー」（学校の学習と直接結び付くもの）と「ワクワクメニュー」（自分の興味あることを楽しみながら学習する）を二つ作り、その中から選ぶことにしました。また、お互いのノートを見合う機会を設け、ノートのまとめ方のコツなどもつかんでいけるようにしたいと考えています。

（自主勉強をするときは）

日づけやページなどを書きましょう。

何について学習したか見出しをつけましょう。

絵や図などをかくと分かりやすいよ。

文を書くときは、垂線を付けたり、かじよう書きにすると見やすい。

大切な言葉に線を引いたり、色をつけたりし。

パッチリメニュー	ワクワクメニュー
<ul style="list-style-type: none"> 漢字（書き順、へんやつくり、じゅく語、文づくりなど） 教科書の分からない言葉の意味調べ ローマ字 算数ドリル（丸つけも） 授業でやった算数のポイントかい説 算数の問題づくり（式と答えも） 社会・理科のふく習 	<ul style="list-style-type: none"> 日記 おすすめの本 読書（読んだ本の名前、感想も） 図かん調べ 好きなもののしょうかい 家族のしょうかい ことわざ調べ はいくづくり（五・七・五） など

（「小学校4年 6月号の学年だより」より）

中学校 主体的(自立的)な学習習慣の確立に向けて

魚津市中学校の家庭学習の傾向

1 平成25年度全国学力調査の結果より

- 家庭学習の時間は、全国や富山県の結果に比べてかなり少ない。家庭での学習時間（塾や家庭教師を含む）を1時間以上行っている生徒の割合は次の通りです。
魚津市 52.5% 富山県 61.5% 全国 68.7%

- 1、2、3年と学年が上がるにつれて家庭学習時間が少なくなっています（1学期調査より）。2年生は2学期から家庭学習時間が少なくなりますが、3年生は多くなる傾向にあります。（25年度 家庭学習調査より）

- 定期考査前の部活動停止期間中の学習時間は、普段の2倍程度となっています。

2 これまでの生徒観察の実態より

- 生活習慣がきちんと確立されている生徒は、学力が高い傾向にあります。しかし、その反対に、生活習慣が確立されていない場合、学力は低い傾向にあることが分かります。
- 宿題はしてくるが、自主的に学習を行う生徒が少ない傾向にあります。
- 学習が分からなくなったときに、自分の力で解決していこうとする気持ちをもっている生徒が少ないと思われます。

家庭での生活リズムを身に付ける

- ※ 全国学習状況調査より、生徒の生活規律は、全国や県の結果と比較してもよい傾向にあり、生徒のまじめな部分を引き上げていくことが大切です。その対策として生活ノート（家庭での時間の使い方やその日の感想等）を生徒が毎日記入し、翌日、担任が回収し、点検を行うことで生活リズムの実態を把握し、助言していくことが大切になります。

一日の過ごし方を明記し、学習時間を毎日記入する。

教師のコメントを記入し、生活リズムの実態を把握する。また、生徒の悩み等を察知する。

午前				午後											
5	6	7	8	※学習は赤、食事、風呂、自由、就寝時刻記入											
				3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	
	起床	登校					帰宅	夕食	自由		風呂	自由	自由	就寝	
感想				学習時間 1 時間 30分											
今日は、数学の復習をしたが、難しかった。何とか宿題を終わらせることができた。															
英語の予習ができなかった。明日の授業が心配だ。何とかしよう。															
最近よく頑張っていますね。英語は新出単語だけは意味を調べて予習しておくようにしましょう。															

家庭学習の計画を立て、実践する力を身に付ける

- ※ 全国学習状況調査から、自分で計画を立てて勉強する生徒は、学力が高い傾向にあります。また、予習をする生徒も、学力が高い傾向にあることが分かっています。

- ※ 計画を立て、見通しをもって家庭学習を行うことや予習や復習を継続的に行うことが大切です。

強化週間を設ける。課題は終学活で確認し、家庭学習の内容と時間について自分で計画を立てる。

課題確認表と計画表

毎日、終学活の時間に、課題の内容を記入し、家で確実に行いましょう。
課題だけではなく、毎日の復習や予習を行い、11月下旬にある期末考査に備えましょう。



月日	曜	課題の内容と学習計画						予定時間	実施時間
		国語	社会	数学	理科	英語	技能教科		
11月12日	月	課題:	課題:プリント1枚 ・プリントに30分	課題:	課題:ワークP15~16 ・ワークに30分	課題: ・単語復習に30分 ・予習に30分	課題:	120分	90分
11月13日	火	課題:漢字学習P24 ・漢字に30分	課題:	課題:ワークP25~26 ・ワークに30分 ・復習に30分	課題:	課題: ・ワークに20分 ・予習に30分	課題:美パ ネル作成	140分	150分
11月14日	水	課題:	課題:白地図P23 ・白地図に30分	課題:プリント1枚 ・プリントに30分 ・問題集に30分	課題:	課題:	課題:	90分	120分

主体的に学習に取り組む力を身に付ける

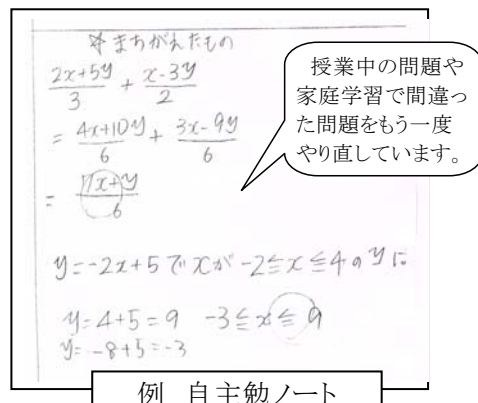
実践例1 自主勉ノート(数学)

(1) 目的及び、実践方法について

復習として、ワークやドリルの問題の計算練習や学習内容のまとめを自主勉ノートで行っています。繰り返し計算練習を行ったり、まとめをしたりすることで、学習内容の定着を図っています。定期考査や長期休業中の課題等としても活用しており、自主勉ノートの学習が主体的な学習態度へとつながり、家庭学習の習慣化が図られていると考えています。

(2) 成果

基礎的・基本的な学習内容の定着が図られ、取り組んだだけ効果が現れるので、生徒の学習に対する意欲化につながっています。授業中でも、時間があれば、自主勉ノートで練習問題を解いている生徒もおり、主体的な学習態度の育成につながり、家庭での学習習慣の確立につながっています。



例 自主勉ノート

実践例2 自己評価プリントを活用した振り返り学習(数学)

(1) 目的及び、実践方法について

学習の成果を確認するとともに、学習内容の定着を目指し、自己評価プリントを活用した振り返りを行っています。

自己評価プリントの表面では、授業の終末時に自己評価(忘れ物、授業態度、学習内容の理解度等)を行っています。裏面では、家庭学習として今日の授業ノートを振り返りながら自分なりにまとめたり、練習問題に再度取り組んだりしています。

(2) 成果

毎時間の自己評価を通して、忘れ物をしないような意識付けになり、発表にも意欲的に取り組む姿が見られます。感想には、「0は基準にもなることが分かった。」「交換法則や結合法則を使って、計算を簡単にすることができたので、すごく便利だと思った。」「今日は、累乗や指数、平方、立方など新しい言葉をたくさん勉強したので、しっかり覚えたい。でも、小学校の面積や体積の単位と同じだと気付いたので、簡単に思えた。」など、数学の用語を使用しながら記述しているものもあり、学習内容の定着に結び付けることができます。また、復習として授業ノートを再度見直すことで理解が不十分であったところを補うことができます。

例 自己評価プリント(文字と式)

実践例3 家庭でのプリント学習による学習内容の定着(国語、英語)

(1) 目的及び、実践方法について

授業後や週末課題として、漢字練習や文法、英単語練習等の学習プリントを配付し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っています。次の授業で回収し、定期的に確かめのテストを行い、学習内容の定着を確認しています。

学力の低い生徒にも考慮し、初歩的な段階からステップを踏んで内容を決めるので、学習への意欲化を図り、家庭学習の習慣化に結び付けることができます。

(2) 成果

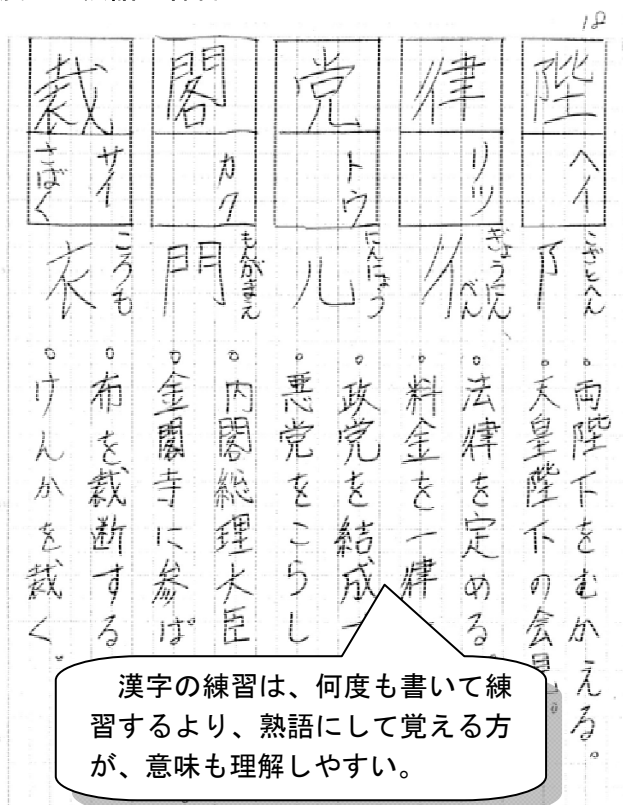
ほぼ毎日実施しており、誰でも取り組める課題であり、しっかり学習していれば点数も取れるため、学習への意欲化が図られています。それが授業への集中力にもつながっています。また、あまり多くの時間がかからず、家庭での学習として取り組みやすいため、家庭学習の習慣化にもつながっています。

自主學習ノ一例

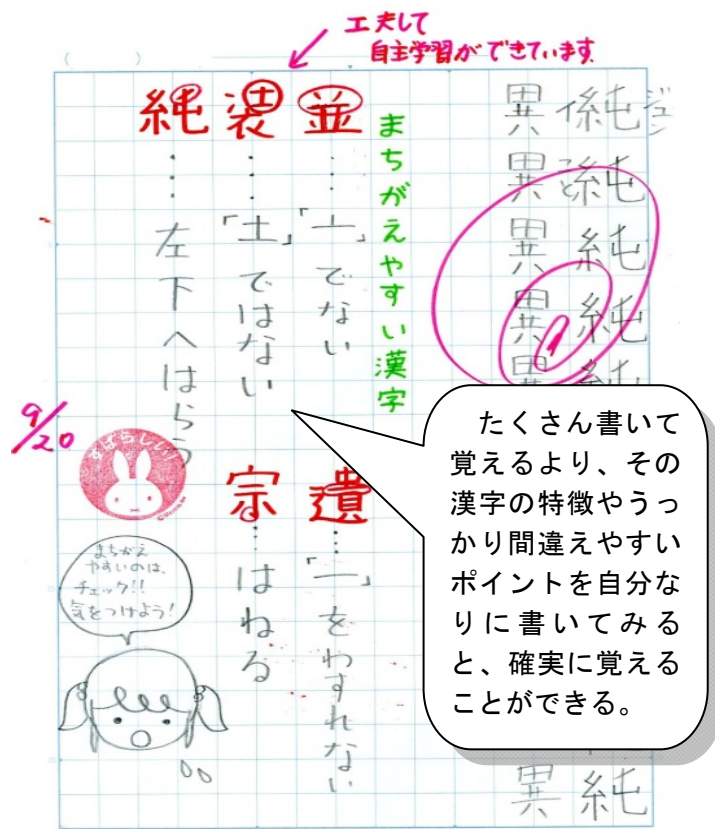
A. 基礎学力をつける「読む」「書く」「計算する」自主学習ノート例

＜国語＞

○漢字と熟語の練習

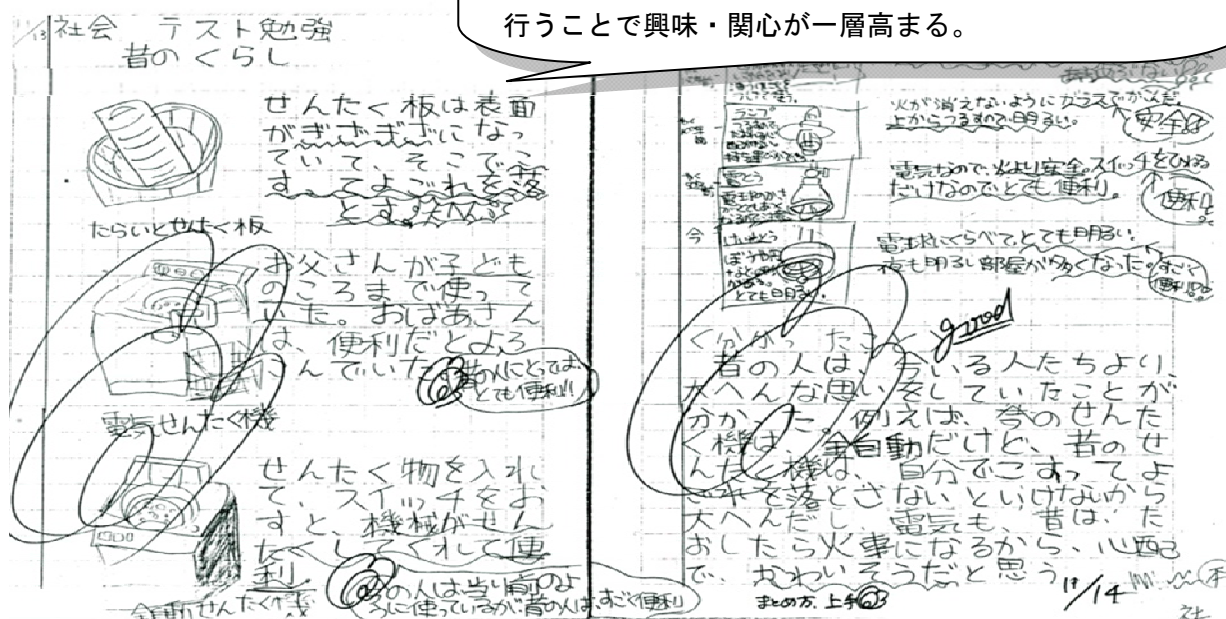


○漢字要点チェック



<社会>

○学習のまとめ（テスト勉強、復習）



<算数>

○答えが決まっている計算練習

5/2 こたえか50になるもの
んだい。う。さんひきさん

- ① $30 + 20 = 50$
- ② $40 + 10 = 50$
- ③ $50 + 0 = 50$
- ④ $60 - 10 = 50$
- ⑤ $80 - 30 = 50$
- ⑥ $90 - 40 = 50$
- ⑦ $100 - 50 = 50$
- ⑧ $51 - 1 = 50$
- ⑨ $70 - 20 = 50$
- ⑩ $20 + 30 = 50$
- ⑪ $99 - 34 = 50$
- ⑫ $59 - 9 = 50$
- ⑬ $89 - 24 = 50$

うさぎの
さんひきさん

既習の計算力を生かして、多様な計算ができる。答えが決まっていることで、いくつかの組み合わせを考える力にもなる。

○復習（自分なりにまとめる）

今日の復習 > 算数 < 比例 >

反比例

縦の長さx(cm)	1	2	3	4	5	6
横の長さy(cm)	18	9	6	4.5	3.6	3

縦の長さが2倍になると横の長さが1/2倍になる。横の長さが3倍になると縦の長さが1/3倍になる。反比例は、ちがうよ。

⑦ 4倍
⑥ 3倍
⑤ 2倍

xとyの式
 $y = 18 \div x$

まとめ
yがxに反比例するとき、xの値が2倍、3倍...になると、それにちがってyの値が1/2倍、1/3倍...になります。

授業の復習をノートに書き、自分で今日のポイントを入れたり、まとめを囲んで分かりやすくしたりしている。

○計算ドリルを使った復習

80 ÷ 4 = 20
400 ÷ 8 = 50
600 ÷ 2 = 300
4900 ÷ 7 = 700
3000 ÷ 6 = 500
360 ÷ 9 = 40

26
3) 78
6
18
0

10
8) 86
8
6

108
5) 542
5
42
40
2

94
4) 379
36
19
16

10
6) 62
6
2

8
6) 50
48
2

計算練習は、間を開けて見やすくし、最後に振り返りを書いている。余白を作ること、間違いが分かりやすくなる。振り返りには次への目当てが書いてある。向上心をもって取り組んでいるよい例である。

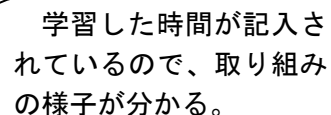
10/2(月) Fight!

2けたの数でわる筆算 14

① $222 \div 2 = 111$
② $364 \div 4 = 91$
③ $489 \div 6 = 81.5$
④ $353 \div 5 = 70.6$
⑤ $180 \div 23 = 7.826$
⑥ $715 \div 89 = 7.932$
⑦ $171 \div 27 = 6.333$
⑧ $148 \div 18 = 8.222$

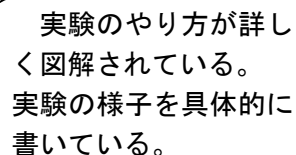
⑨ もっと早く書けるようにがんばりたいです。

○学習のまとめ



食物連鎖の関係を自分
なりのキャラクターで図
示している。

矢印(→ や ⇒)を効果的に使用し、箇条書きを使って分かりやすくまとめている。



実験によって分かったことを、コメント入りできれいにまとめている。

